



ボートでの事故が続出しています！

プレジャーボートで航行中、機関故障し、海岸に漂着した事故

【概要】

4月下旬、プレジャーボートA丸（2名乗船）は午前6時頃に定係港を出港し、昼前頃まで沖合で釣りをしていました。港に帰る途中、急にエンジンが停止し、再起動しなかったことから、知人の漁師に救助を依頼しましたが、海岸に流され、漂着しました。乗組員2名は自力で上陸し、無事でした。



【対策】

- ✓ 必ず**発航前検査**を実施し、**整備業者等による定期的な点検整備**も実施しよう！
- ✓ 機関故障した場合、**救助支援者への連絡**だけでなく、**海上保安庁の緊急ダイヤル118番**も活用しよう！



手漕ぎボートで釣り中、自力での帰港が不能となった事故

【概要】

4月下旬、手漕ぎボートB丸（1名乗船）は午後4時頃に出港し、漁港の消波ブロック付近で釣りをしていたが、風浪の影響により沖合に流され、気付いたら自力で港へ帰ることができなくなりました。乗船者は118番通報し、当庁から要請を受けた水難救済会所属船により救助されました。なお、乗船者はボート[※]での釣りが初めてでした。

※水難救済会とは

公益社団法人日本水難救済会というボランティアによる民間救助組織であり、海で遭難した方々や船舶などの救助活動を行う団体です。



（当時の気象状況）
風 E 8m、波高 1m

【対策】

- ✓ 海上では刻々と気象・海象状況が変化するため、**最新の気象・海象情報**を常に確認しましょう！
- ✓ 釣りだけに没頭せず、**常に自船の位置や周囲の状況を確認**するとともに、少しでも**風や波により操船が難しくなったり、冲向きの風**になったら、無理をせず、**すぐに引き上げる**ようにしましょう！

